

附属札幌中学校「学校だより」

藤 房

北海道教育大学
附属札幌中学校

令和7年5月30日発行

No.3

修学旅行を終えて

第3学年主任 田口 祐弥

「修学旅行とは、『学』びを『修』める旅行的な学校行事です。修学旅行のねらいを達成するために、さまざまな活動をとおして学び、その過程を楽しんでほしいのです。」

これは、修学旅行のしおりに寄稿した内容の要旨です。

生徒たちは、集団の一員として望ましい集団生活の在り方を考え、すすんで行動し、よりよい集団を目指すために必要なことや公衆道徳を守る行動の仕方を「学」びました。さらに、現地で見る景色、現地の人から聞く話、現地でわかるにおい・肌触り、現地で味わう自然の恵みを堪能し、現地で修学旅行の実施を支えてくれる人と出会い、特別な場所と時間だからこそ仲間のよさや頼もしさに気づき、「楽」しいひとときを過ごしました。

「先生、卒業旅行で長崎リベンジしたいです。」

これは、太宰府天満宮から福岡空港に向かうバス車内で聞こえた言葉です。

生徒たちは、修学旅行を通して多くのことを学びました。長崎の地において、被爆体験講話や原爆資料館等の見学、平和記念公園での平和セレモニーを行い、平和についてじっくり考えることができました。街中に防空壕跡や爆風で壊れた鳥居など戦争の跡が今も点在していることを知り、戦争や原爆の悲惨さを目の当たりにするとともに、自分ごととして捉え二度と戦争を起こさないために後世に伝え続けていくことの重要性を実感し、平和を願い自分にできることを考える生徒の姿が心に残っています。

二日目の自主研修は過酷でした。暴風警報が発令され、だんだんと風速や雨足が強まり、自主研修の実施が危ぶまれる中、時程を繰り上げ所要時間を短縮しての決行となりました。生徒たちは、限られた時間、範囲でできることをすぐに話し合い、ルート等を変更して自主研修を開始しました。天候に恵まれなかったものの、お互いを気遣い、班員同士が協力して臨機応変に対応するなど、状況を前向きに捉え、今できることを考え、実行するという貴重な経験をしました。生徒の中には、かえって「いい思い出」になったと捉えている人もいます。「ない」ことを嘆くのではなく、「ある」ことに目を向けその状況で「何とかする」という力は社会に出たときにも重要で、その力を生徒たちが修学旅行で発揮できたことは、心から素晴らしいと思います。

修学旅行から帰ってきてからの学校生活では、話を聞く環境づくりや時間意識の向上などに取り組んでいます。日常の学級・学年の課題が特別な状況でも共通して見られることに気づき、修学旅行をとおして学



〈被爆体験講話の様子〉

んだことを日常につなげていくことの大切さを実感しているのだと思います。現在、お世話になったバスの乗務員さんにメッセージを届けようという活動が行われています。このメッセージが届いたとき、きっと乗務員さんは「嬉しい」「附属中の生徒と出会えてよかった」「メッセージを伝えてくれてありがとう」と感じてくれるのではないかと思います。また、解団式の各係からのお話で、「係の活動を手伝ってくれてありがとう」という言葉が印象的でした。各係の一人一人が、よりよい修学旅行を創り上げるために準備をしてきたことは素晴らしい



〈長崎のホテルでの様子〉

です。さらに、そのことについて係を代表して感謝の気持ちを述べられる感性もまた素晴らしいと思うのです。「ありがとう」が「ありがとう」の連鎖を生み、「みんな」が前向きな気持ちになれる営みをつくろうとしている生徒の姿を目にしました。

このような体験やそのときの思いなどが、札幌に帰る道すがら聞こえてきた言葉に込められていたのでしょう。

「修める」とは「身に付ける」という意味もあります。生徒たちは、「学」んだことや「楽」しいと感じたことを大切にしたい、二つの「がく」を「身に付ける」とともに、身に付けたことをさらに高めていこう、大切にしたいを育てていこうという気持ちで、日々を過ごしているのだと思います。まさしく「学」びを「修」める「楽」しい旅行を創り上げることができたのではないかと思います。しかし、第 78 期生の仲間とともに過ごす修学旅行は二度とありません。相手や集団を思いやる行動が取れなくなったり、平和への想いを忘れて相手の心や集団の平穏を害したりしても、学び直す機会はないのです。修学旅行で得た「学び」を日常生活に生きる「学び」へと育て、これから卒業へ向かう 10 カ月の旅路の中で「学」びを「修」めてほしいと願っています。

最後になりますが、保護者の皆様には今回の旅行に際し、事前の御準備や御指導、お迎えなども含めたくさんの御協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。お子様が3日間の旅行から帰り、御家族の皆様にも最初に見せた「顔」はいかがでしたでしょうか。きっと、充実した時間を過ごしたことを、言葉以上に物語っていたことと思います。これからも、御家族の皆様がお子様の素敵な「顔」を見られるよう、3年生が附属の「顔」として歩いていけるよう心して支援して参ります。今後とも、本校の教育活動への変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

Passion 溢れる第 78 期生

修学旅行実行委員長 3年 C 組 近藤帆珠



〈雨の中、平和への願いを込めて〉

今年の修学旅行の中で、特に印象に残ったのは自主研修です。なぜなら、大雨の中の実施となったからです。修学旅行の約 2 週間前、とある生徒が修学旅行当日の天候を確認していたところ、自主研修当日の降水量が 10mm という表示になっていたのです。また、風速は 25 メートルとなっており、立つのすら難しいとの予報でした。

迎えた自主研修当日の長崎市は、予報通りの土砂降りの雨と強い風に見舞われ、足元には大きな水たまりがあり、自主研修の時間は 1 時間短縮となってしまいました。です

が、私たち 78 期生はその突然の変更にも臨機応変に対応しました。予定していた自主研修のルートを削ったり、用意していた雨具で雨から身を守ったりすることで、集合時刻には全員無事で集合場所につくことができたのです。

そして修学旅行を終えた後、解団式で決まった学年目標は「Passion」でした。学年目標に恥じない凄まじい Passion、つまり情熱で乗り越えた自主研修の大雨。それは、全員の絆を深めるとともに、3 年間の思い出に刻まれたと思います。

■ふじづる会寄付金、御協力をお願い

日頃より、ふじづる会の活動に御理解と御協力を賜りまして誠にありがとうございます。6月3日(火)~20日(金)の期間で、寄附の受付致します。詳細につきまして、別紙「ふじづる便り」で御案内いたします。御協力いただけますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

■附属花プロジェクト(5/17)

5月17日(土)に小・中・ふ合同で「附属花プロジェクト」が行われました。これはPTA父親委員会が主催してくださり、毎年お世話になっている緑化デザイン株式会社の御協力の下、毎年開催しているイベントです。今年度は有志の生徒も参加し、保護者と生徒が共に環境をつくる活動をすることができました。恵まれた天候の下、花壇の整備、排水溝の清掃、草むしりなどが行われました。お忙しい中、御参加くださった皆様、誠にありがとうございました。



三角赤：生徒
三角黄：先生・事務員等の教職員
丸赤：卒業生
白：保護者

なお、中学校玄関の横の花壇は、写真のように毎年同じデザインになっています。これは、それぞれ学校に関わる人を表しており、本校生徒を教職員、卒業生、保護者が皆で支え、見守り、励ましている様子を表しています。本校が大切にしている「共創の学校」の理念をイメージしたものです。御来校の際、改めて御覧いただけますと幸いです。



■新任教職員の御紹介

ふじのめ学級の講師として、北海道教育大学教職大学院より清田千尋先生が着任しました。

6月の行事予定

日(曜日)	行事等の予定	下校バス時刻(予定)
1日(日)	創立記念日／部活動可	
2日(月)	第1回附中オープンスクール	16:20
3日(火)	3時間後給食／道附P連／授業参観／学年・学級PTA懇談会 ふじづる会寄付金振込期間(～6月20日)	13:55
4日(水)	【研究日】内科検診(2年生)	16:10
5日(木)	内科検診(3年生)	16:20
6日(金)	D組給食交流	16:20
7日(土)	部活動可	
8日(日)	部活動可	
9日(月)		16:20
10日(火)	避難訓練／簡易給食／【札教研事業】(3時間日課) 3年A～C 総合的な学習の時間 公開授業	12:40
11日(水)	【研究日】	16:10
12日(木)	【職員会議】	15:10
13日(金)	藤華祭・合唱祭大綱審議／D組給食交流	16:20
14日(土)	部活動可 中体連(卓球)	
15日(日)	部活動可	
16日(月)	教育相談①	16:20
17日(火)	教育相談②	16:20
18日(水)	【研究日】／教育相談③	16:10
19日(木)	心臓検診(1年生＋D組)	16:20
20日(金)	藤華祭PJ決定学活／D組給食交流 ふじづる会寄付金振込期間終了	16:20
21日(土)	部活動可 中体連(サッカー、卓球、テニス)	
22日(日)	部活動可	
23日(月)		16:20
24日(火)		16:20
25日(水)	【研究日】	16:10
26日(木)	【教育研究大会事前研究会】(3時間日課)	12:10
27日(金)	委員会・専門局会／D組給食交流／帰り学活10分延長	16:20
28日(土)	部活動可 中体連(サッカー、テニス、卓球)	16:20
29日(日)	部活動可 中体連(サッカー、バドミントン、バスケットボール)	
30日(月)		16:20